

【別添1】

海外事務所 主な活動報告（令和5年3月）

《ワシントン州事務所》

県立大学グローバルリーダー教育プログラム(GLEP)参加学生2名(国際商経学部・工学部3回生)のインターンシップが終了し無事帰国した。前半2週間は、当事務所で資料作成等の業務を行い、3月2日(木)から4日(土)の3日間はエメラルドシティ・コミックコンの事務所ブースでアニメツーリズムのプロモーションを行った。

また後半2週間は、公立高校の日本語クラスの教員補助を行い、日本の高校生・大学生の生活等のプレゼンテーションを行った。いずれも受入教員からは高い評価を得られた。

<県立大学グローバルリーダー教育プログラム>

○日程 2月21日(火)～3月17日(金)

○場所 兵庫県ワシントン州事務所

シアトルコンベンションセンター(エメラルドシティ・コミックコン会場)

チーフ・セルス国際高校(シアトル学区)

ショーウッド高校(ショーライン学区)



チーフ・セルス国際高校での
高校3年生の授業補助の様子

《パリ事務所》

海外での日本アニメ・漫画人気は、いまやフランスやロンドン等欧州地域にとどまらず、中東地域にも拡大している。今月、イスラエルでは、同国最大規模の日本アニメの祭典「Harucon 2023」が開催された。当事務所は在イスラエル日本国大使館と共同で観光PRブースを出展し、関西のアニメツーリズムを紹介した。また、会場に設置されたセミナー会場にて、関西のアニメツーリズムスポット等を紹介するプレゼンテーションを実施したところ、200人収容の会場は満席となった。

同大使館の書記官によると、「イスラエルでも日本のアニメ・漫画の人気はかなり高い。国営エル・アル航空が、今月から東京直行便を就航したことでも追い風となり、訪日旅行者は今後さらに増えるだろう」とのこと。加えて、「神戸には古くからユダヤ人コミュニティがあり、また先の大戦時には『杉原千畝の命のビザ』で日本に亡命したユダヤ人の多くが、神戸に一時滞在した。このため、イスラエル人の間で神戸の認知度は既に高く、観光地としてのポテンシャルは大きい。」との情報を得ている。

(※杉原氏の故郷である岐阜県は、すでに訪日イスラエル人旅行客の主要訪問先となっている。旅行単価の高い彼らの来訪は地元経済に好影響を及ぼしているとのこと。)



写真左：観光ブースには、コスプレを楽しむイスラエル人来場者も多く訪れた

写真右：関西アニメスポット等を紹介するプレゼンは会場が満席の盛況に

《香港経済交流事務所》

香港の著名レストラン等からシェフ9名を現地の飲食店に招待し、県産食材の素晴らしさを味わってもらうPR試食会を開催。食材を提供する生産者や海外実務研修生が、店頭に並べているだけでは伝わりにくい食材の持つストーリーを参加者に伝え、好評をいただいた。

香港は限られた土地に高級飲食店がひしめき合っているため、シェフ同士の繋がりが強く、食材の評価は良くも悪くも口コミで伝播し易い。

当事務所にて独自に「評価シート」を作成し、参加したシェフにはすべての食材について記入いただいた。

それぞれが関心を示した食材の飲食店での採用に向けて個別にフォローアップを行っているほか、現地の流通事業者へも各食材のPRを行っている。

<兵庫県産食材の試食会の開催>

○日 程 3月13日(月)

○場 所 香港セントラル



PR試食会の様子